



知内町民の皆様、新年あけましておめでとございます。

皆様が健やかに新年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

私も町長就任以来丸2年を迎えます。

町民の皆様の温かいご理解とご支援をいただき、改めて、町政運営に関する皆様からの負託の重さを実感しているところであり、4201人の町民の幸せのために、今後も真摯に町民の皆様、議会の皆様との交流・意見を大切に取組んで参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、全国的に多くの災害が発生しております。

九州地方を襲った7月豪雨は特別警報が出されるなど、これまで経験したことのない災害となっており、東日本大震災以降、災害に対する取り組みは進んでおりますが、当町においても町内会と連携しながら「町民の命を守る」を最優先に行動させて頂きますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、中国で最初に確認された新型コロナウイルスは、世界中に感染が拡大し、日本においても瞬く間に広がり、

我が町でも感染が確認され尊い命が奪われました。その脅威は収まらず、緊急事態宣言が発出され、日常生活、経済活動は長期にわたり自粛を余儀なくされており。その脅威を侮ることなく、町民の皆様方にも、行動の自粛とマスクの着用・手洗いの徹底を引き続きお願いするものであります。「みんなのため」は「あなたのため」。皆様一人ひとりの感染予防対策の実践と、感染した方や対策に携わった方々等に対する、冷静な思いやりをもった行動を心からお願ひします。特に、対応にあたる消防職員、医療関係者の皆様には特段のご配慮をお願い申し上げます。

今ここに、感染症が速やかに終息されることを願っております。

さて、平成31年2月15日町長就任以来、町の各種課題解決に向け全力で取り組んで参りましたが、本年も引き続き、町民の皆様を始め議会議員の皆様との同意を得ながら、共に将来を見据えたまちづくりの歩みを一層強化できればと考えております。平成31年度（令和元年）の決算においては、実質単年度収支が6年ぶりの黒字となるなど、多くの町民のご理解・ご尽力と、職員の創意工夫の取り組みへの成果である」と心から感謝申し上げます。しかし現状は第一歩の始まりに過ぎず、まだまだ難題が山積しております。

今後職員を集結を頂きながら町政をしっかりと進めて参ります。

知内町の産業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により商工業

始め、多くの産業がダメージを負ったところであり、特に木材加工業、製造業、飲食業や宿泊・観光業、漁業等、あらゆる産業への影響は大きく、状況を見定めながら引き続き必要な対応策を模索して参ります。一方で、知内の素晴らしい産業へと成長した命の源「食」という資源であります「農業」の踏ん張りはうれしく「北の華」においては、過去最高の販売額約15億円を達成しました。本町の基幹産業として成り立ちの歴史を知り、日本の食を支える勇気と誇りを若い人々にも感じていただき、後継者、担い手に溢れる農業・漁業へと展開できるよう取り組んで参ります。

文化・スポーツ・芸術面では、一年間で数多くの大会で児童生徒が活躍してくれましたが、昨年はコロナ禍の影響を受け、各種大会やコンクールが中止されました。活躍の場が失われたことで、児童生徒の皆さんには目標を失いかけていたことと思えます。そんな中、大会関係者等の努力により開催された、第73回秋季北海道高等学校野球大会函館支部予選において、知内高校が16年ぶりの全道大会出場権を勝ち取り、勢いそのまま準々決勝では豪駒大苦小牧高校に逆転勝利を収め、準決勝では北海高校に涙しましたが、ベスト4まで進む快挙を成し遂げました。

12月15日には21世紀枠全国9候補校の1校として甲子園への希望も繋げており、28年ぶりの甲子園への夢を我々町民も共有できることは、町にも明るい話題となり勇気となりました。町民

の皆様が励ましが、何より大きな力となります。今後も引き続き、御声援下さいますようお願い申し上げます。

また、今年待望であった「きらく町内会館」が完成し、町内会活動や防災拠点としての環境向上が図られるところであり、更には、これまで協議を重ねておりました幼保連携施設である「認定子ども園」の着工も予定しております。

人口減少が課題と叫ばれている昨今ですが、減少を嘆くばかりではなく、まず住んでいる町民、子供たちが自分の町に誇りと夢を持つ事が、将来のUターンや定住にも繋がります。まだ眠っている沢山の資源に気づき活かすことで「ただの田舎」ではなく「地方にこそ輝く躍動の舞台がある」に繋がると信じております。

結びになります。皆様のご理解を頂きながら町の行政運営を預かり、2年目を迎えて令和3年度へ向けての対話集会、コロナ禍中ではありましたが、多くのご意見を頂戴することができました。町民の皆様にはご理解、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

今後も「一人ひとりの気持ち」が繋がる町政の実現に向けて、町民の皆様が私を含めた職員に対して、気軽に声をかけやすいムード作りに向けた努力をさせていただきます。町民の皆様には本年も引き続きご指導、ご支援、ご理解を頂きますようお願い申し上げます。ともに、ご家族皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。